

図 9 和田西原団地区画図



(住宅供給公社提供)

② 意見

全ての区画が 200 m²以上であり、中心市街地までの地の利が良く、分譲住宅としては問題ない。しかし当初から需要予測を 200 区画以上も上回る開発を行ったことから、需要を上回る区画については、通常の販売計画のみでは売却することは困難である。今後の景気動向によっては販売戸数が増加することも考えられるが、分譲地の草刈等の維持費用を圧縮するために、早期の売却が望まれる。広告宣伝活動や販売活動にあたり、継続的に松本市と連携することが望まれる

(16) 南信地区－飯田地区職員宿舎予定地（飯田市）

① 区分

調査依頼土地（2 県有建物が建設されていない県有地）

② 財産管理者

職員課

③ 財産の所在地

飯田市上郷別府 2 2 4 1 - 1 8

④ 財産の概要

土 地					
地目 (公簿)	地目 (現況)	面積 (㎡)	現在評価額 (H18 評価替) (千円)	取得時期 及び由来等	土地のみの 取得価格 (千円)
宅地	更地	3,219.58	75,107	H9.3.12	176,110

⑤ 主な用地取得その他の経緯

H7 上郷独身寮が上郷バイパスにかかるため代替宿舎として新規建築計画。

【宿舎建設計画】

・平成 11 年度完成

・宿舎概要・・・鉄筋コンクリート 3 階 2 棟（世帯用 6 戸、単身用 30 戸）

H8 土地開発公社 用地先行取得のための事前協議

H9 土地開発公社「公用公共用地等の用地先行取得に関する実施協定書締結」

H11 財政逼迫により職員宿舎の新規建設凍結。

H15 長野県の財政改革推進プログラムの中で、「財政改革推進期間中（H14～H18）は、庁舎等施設建設の新規着工は原則として凍結」との方針が示される。

H19 再度、建設の可能性を検討。

H20 平成 21 年度予算編成方針の中で、「職員住宅の新規建設は既に凍結」と改めて示される。

H21 下伊那地方事務所と協議し、今後、管財課へ未利用地として引き継ぐ方針を確認。

③ 意見

a. 用途について

本物件は、平成7年に、近隣に建設されていた上郷独身寮が上郷バイパス工事にかかることから、その代替宿舎として予定されたものである。しかし、平成11年以降の財政逼迫により、庁舎等施設建設の新規着工が凍結されたことから、着工されず更地のまま所有されている。

職員課としては、飯田地区の民間賃貸住宅の供給数が少ないことから、新規の職員宿舎として建設したい意向を持っていたが、今年度（平成21年8月）、管財課へ未利用地として引き継ぐ方向性を確認したとのことである。いずれにしても、職員宿舎に関しては、前述した、職員宿舎の今後のあり方の検討を早期に実施し、現在、職員宿舎予定地として保有する土地についても、その用途について結論を出す必要がある。

(飯田地区職員宿舎用地)

